

掛西学園だより

平成27年
11月発行
No.05

地域ぐるみで子どもを育てましょう!



交通指導ボランティアは あいさつ運動の旗頭です!



西南郷地区ではセンターが作られた平成13年から地域のボランティア活動として、毎日、登下校の交通指導をされています。こうした地域ボランティアの方によって、子どもたちの安全が守られているのですね。ありがとうございます。

おはよう! いってらっしゃい!

みんな、
ルールを
守ろうね!



読み聞かせボランティア

地域のみなさんの力をいただいて



中央小



それぞれの幼稚園、保育園、小学校、中学校で、最も盛んに行われているボランティアは、本の読み聞かせです。

左の写真の上二枚は、中央小学校の保護者による読み聞かせの様子です。中央小学校では毎月数回の読み聞かせ活動を行っています。またその後、図書室の整理や、読み聞かせ教材の相談などを行っています。

左下は、聖マリア保育園で読み聞かせボランティアを行っている「ひまわりの会」の皆さんです。「ひまわりの会」では、絵本の読み聞かせやマジックなども実施しています。子供たちは大変熱心に聞いています。



聖マリア保育園

くるみ幼稚園では保護者の方の力を借りて、いかだ作りが行われました。



くるみ幼稚園



いかだ作り



トウモロコシの苗を植えたよ!

さやのもり

曾我小

稲刈りしたよ!
今年のお米の
できはどうかかな?



人権きょうしつ

聖マリア保育園では、今年初めて、「人権きょうしつ」を行いました。掛川市の人権擁護委員の皆さんが紙芝居やテープサートで、命の大切さをお話されていました。



進む幼稚園・小学校・中学校の交流

一貫教育を目指して！

いっしょに、いじめ追放宣言！



西中生が小学校へ出かけて、あいさつ運動・いじめ追放宣言・陸上練習をしています。

また、さやのまりの運動会へも参加しました。



掛二小の児童たちが、さやのまのり幼稚園へ出かけて、園児たちといっしょに遊びました。

掛西学園では、夏休みに西中学校区内にある二つの高校で、小中の児童と生徒を集めて特別授業を行っています。西高では理科実験教室、東高ではエンジョイイングリッシュ教室が行われました。このように小・中・高が連携して子どもたちを育む取り組みも行われています。



陸上練習もいっしょに！



ノーベル賞に学ぶ

●失敗してもやってみよう という気持ちが大変

この言葉は、ノーベル賞を受賞した大村智さんの言葉です。失敗を恐れる親や子供が多いと思いますが、この言葉はそんな私たちに勇気を与えてくれますね。

NHK連続テレビ小説の中で、主人公の子供たちが、「失敗・おっばい・世界一」というセリフを繰り返していました。多くの失敗が大きな結果を生むことを教えてくれました。

●カミオカンデ

「紙を噛んで」ではありません。浜松ホトニクスという会社が作った素粒子ニュートリノを観測するカミオカンデという観測装置です。もう一人のノーベル賞受賞者・梶田隆章さんは、このカミオカンデを使ってニュートリノに質量があることを発見しました。

日本の学校には、将来のノーベル賞候補を生み出すための機会や教材がたくさん用意されています。校舎見学や授業参観をしてみると、日本の学校には他の国にはないすばらしい教育環境があることに気付かされます。

さて、下の教材は何を勉強する
教材が分かりますか？



こんなボランティアもしています!

ボランティアの募集はしていませんが、西中には、「PTA相談窓口」という、全国的にも画期的な活動があります。

相談員は西中の元PTA役員で構成されていて、西中へ子供を通わせる保護者の方の様々な相談にのっています。

また、保護者の方がより学校を知る機会として、給食試食会や校舎見学会も企画しました。

ボランティア交流会 開催のお知らせ

とき：12月7日夜7時～8時半

場所：西中図書室

対象：登録ボランティアの方
活動に興味のある方
協議会の委員の方
掛西学園の教員

内容：掛西学園の活動報告
個人&グループの活動紹介
グループ・ディスカッション

今年もボランティア交流会を開催いたします。ふるってご参加ください。なお、ご参加くださる方は以下までご連絡ください。

西中・岡本（教頭）まで
TEL0537-22-7258



ボランティア募集

掛西学園では、ボランティアに登録して下さる方を募っています。詳しくは、西中学校区内の、幼稚園・保育園・小学校・中学校まで…。

読み聞かせ
家庭科補助
部活指導
学習指導
その他、あなたの
特技を生かした
活動など

← 答え

人や物が動くときの加速度を測る教材です。理科の授業の時、生徒の背中に紙テープを貼り付け、走り出すときの加速度をテープに記録します。



掛西学園だより

平成27年
3月発行
No. 04

地域ぐるみで子どもを育てましょう!

子どもたちは、
地域の皆さんの協力で
育まれています!



図書ボランティア「ブックエンジェル」によるハンドベルと読み聞かせの会 (平成26年12月16日)



家庭科の授業でのエプロン作り。保護者の方が授業のサポートに来ていただきました。



P.T.A主催のチャレンジスクールの一つ「料理教室」でお手伝いして下さった食生活推進協議会の皆さん。



トゥッティーモの皆さん (トゥッティーは「みんなで」、モは「お母さん」を意味するそうです。



地域学習として地元曾我の「郷土を知る会」と題して授業が行われ、郷土研究をされている松浦哲二さんがお話ししていただきました。



在園児のお母さんたちのサークル「マーガレット」によるコンサート

掛西学園では、西中学校区にある幼稚園、保育園、小中学校でボランティアをしてくださる方を募集していますが、それ以外にも地域の方々や、保護者の方々が、様々な形で子供たちの育成に携わってくださっています。
昨年度は、保護者の方々の草刈りなどの奉仕作業も含めて延べ500回4千人の方が西中学校区内でボランティアとしてご協力していただきました。



園や学校にお子さんを通わせている方も
 おさんが卒園・卒業した方も
 これでまでに園や学校とはあまり関わりがなかった方も
 お父さんも お母さんも
 お爺ちゃんも お婆ちゃんも
 社会人の方も 学生の方も
 「よみきかせボランティア」をしてみませんか？

私は、掛二小と西中で読み聞かせをしています。どちらも朝8時から15分程度です。読み聞かせの日は朝は少しバタバタと忙しいですが、月に1~2度のことですので、なんとか頑張っています。小学生も中学生も、とてもしっかり聞いてくれます。中学生は、なかなか反応を表してくれませんが、それでも気持ちは伝わってきます。子どもたちの様子を見てみると、朝忙しくても頑張ってくれたなあと、こちらが元気をもらえます。一番悩むのは、本選びですが、ボランティア仲間には、ベテランの先輩方、たくさん知識を持っている方がいらっしゃるので、聞けば快くアドバイスして下さるので安心です。もっともっと仲間が増えることを楽しみにしています。

(高安郁子・秋葉路)

「小さな
 お子さんを
 連れての
 よみきかせ
 ボランティア。
 お母さんの
 背中を
 聞いてるよ！」

私は、読み聞かせ暦が長いわりには、絵本についてそう詳しくはありません。それでも、読み聞かせを通して、ほんのひとときでも子どもたちとつながれるのがうれしくて、自分の子どもたちが卒業した今でも読み聞かせを続けています。子どもたちは本当によくお話を聞いてくれます。その姿に、ほっこりさせてもらうことも度々です。

出会うのは、子どもたちだけではありません。読み聞かせ仲間のお母さんたちの生き生きとした姿に刺激されることもありますし、新しい情報をいただけることもあります。互いの子どもたちの成長を見守り合ってきたのも、ありがたいことです。そんな読み聞かせ仲間がひとりでもふたりでも増えてくれたらうれしいなあと思っています。(越水律子・秋葉路)

はじめてボランティア 交流会を開催しました！

園・学校支援ボランティアに登録されている皆さんに集まっていただき、はじめてのボランティア交流会を開催しました。写真はグループに分かれてのディスカッションの様子です。

(平成26年12月8日
 中央小地域生涯学習センター)



学園化によって、地域から学校、学校から地域、 そして園・学校間の関わりが深まっています！



学び



手当ケア

伝え



そして
 地域へ



PTAのあいさつ運動が、中学生から小学生へのあいさつ運動へ・・・



小学校へ出かけて・・・



いじめ
 追放宣言
 を広める運動

よみきかせボランティアをはじめボランティア活動の問い合わせは掛西学園事務局または各園・小中学校へお問い合わせください。

発行：掛西学園事務局
 掛川市立西中学校
 掛川市下俣1007-1
 Tel 0537-22-7258